

委員名	協議会委員からの意見・要望等	市教委としての考え方・対応
亀田委員	小規模校と少人数学級とは別物であるが、幸町第四小のように1学級あたりの児童数が非常に少ない学校の場合は、統合したときに1学級あたりの人数が増える場合が多い。そのような状況に対する何らかの手立ては考えられないのか。	少人数学級のメリットである「きめ細かな指導」を生かしながら、学校規模の適正化が進められるよう、教育委員会としても最大限努力していきたいと考えております。今後、委員の皆様と十分に協議していきたいと考えております。
齋藤委員	<p>実際に統合した学校があるにもかかわらず、その前後でどう変わったのかをレビューしていないのであれば、PDCAが回っておらず、今回の取り組みは意味を持たないと感じる。過去の実績をレビューしてその結果を示す必要がある。</p> <p>教員相互の相談や切磋琢磨、多人数の集団による経験等、小規模校のデメリットのいくつか、もしくは多くは、法的制限がなければ運用と工夫で解決できるのではないかと。</p> <p>適正配置による本当のメリットは何か。人間関係、教育指導、学校運営に関して、資料に説明はあるが、いずれも定性的で、何をもちて判断するのか、その判断基準が不明に感じる。</p> <p>本質的には、メリットは経費の削減ではないのか。学校を3つから2つに減らす、もしくは1つに統合することは、経費上大きなメリットがあると思う。「お金の話と教育を一緒にするな」との意見がでることを懸念して、数値を示していないが、例えば、「この統合により年間10億円の経費が削減できます。削減した経費の数億円は、新たな教育のために使用します」と説明した方が、理解はしやすいのではないかと。</p> <p>学校統廃合の実現の前に、バーチャル的に統合してはどうか。統廃合の対象となる学校に校長先生を一人置き、その下に1～2校が一つの学校のように一つのマネジメントの傘下に入る方法を取り、本当に統合するほうがメリットが大きいと判断した場合には、バーチャルではなく新しい組織として統合する。逆に環境変化や見込み違いでもとの組織の方が良いと判断した場合には、元に戻す。</p>	千葉市初の統合校『花島小学校』の状況につきましては、『千葉市学校適正配置実施方針』と今回提示した資料を参考にしてください。人を相手とする教育においては、定量的な評価が難しいことが多々あります。適正配置のメリットとデメリットにつきましては、実際に教育現場に携わる教員からの考えや意見も集約しております。学校適正配置は、「よりよい教育環境の整備と教育の質の充実」のために行うものです。今後の協議の中で、地域や保護者の皆様に十分議論していただきたいと考えております。なお、『実施方針』では、統合による跡施設利用の基本的な考え方として、地元の要望に配慮しながら有効活用することを原則として検討し、有効活用後、残った跡施設を処分する場合は処分益を教育施設等の整備・充実のために優先的に活用することとしております。
川島委員	<p>木幡委員の話が途中になってしまったが、最後まで聞きたかった。</p> <p>全体的に昔と今とを比べていることが多いが、昔の子どもと今の子どもとの違いをもう少し理解してほしい。</p>	昔と今の子どもたちでは、おかれている環境は異なりますが、学校は、集団のかかわり合いの中で、子どもたちの資質や能力を高めていくという場であることに変わりはないと考えております。今の子どもたちに必要な教育環境について、本協議会の中で十分に協議していただきたいと考えております。
稲田委員	小規模校のデメリットが数多くあげられているが、必ずしも全部当てはまるとは思わない。小規模校に勤務している先生の意見を聞いてみたい。	デメリットについては、そのような状況が生まれる可能性も含めてあげていますので、全部当てはまるとは限りません。資料については、実際に教育現場に携わる教員の方からの意見や考えを踏まえてまとめております。
布施委員	<p>幸一中の新1年生において、早速適応できない子どもが出ている。現状をみると、小規模の方が子どもは落ち着いて学習できるのではないかと。</p> <p>メリット、デメリットの表を見たが、この内容では統合することについて魅力を感じない。保護者はきめ細やかな指導を求めている。現状では困ったり不具合は感じられない。なお、統合が必要ならば、もっと魅力を感じる案がなければ考えることは難しい。</p> <p>市行改革では、財政面から学校の統合が必要とあった。その点の話は出ていないが、説明してほしい。行革会議で、統合によりプラスになった分は教育面に使用してもらえるかを聞いたが、そういう予定ではないとの答えだった。</p> <p>時間をかけて話し合うべきことだと思うので、時間がないからといって意見を中断しないようにしてほしい。また、広く、たくさんの人から考えていること、感じていることも聞いてほしい。平日夜に設定しているが、時間がないのであれば日中でもよいのではないかと。</p>	小規模校におきましても、子どもたちが困ったり不具合が生じたりしないように教職員は常に努力しています。しかし、隠れた問題や不具合を感じている方もいらっしゃるのではないかと推察します。今後の協議の中で、様々な面から議論していただきたいと考えております。学校適正配置は、「よりよい教育環境の整備と教育の質の充実」のために行うものです。『実施方針』では、統合による跡施設利用の基本的な考え方として、地元の要望に配慮しながら有効活用することを原則として検討し、有効活用後、残った跡施設を処分する場合は処分益を教育施設等の整備・充実のために優先的に活用することとしております。
西重委員	学校規模のメリット、デメリットについては資料等でわかった。今後の協議では、メリット、デメリットをことさら強調しあっても致し方ないと思う。行政側がデメリットの部分を少しでも緩和できるような対策を取れるのかどうか。当初1、2年だけの増配置しかできないのか、あるいはモデル校的に将来にわたり増配置できるのかどうか、そのあたりまで踏み込めば、譲歩できるかとも思う。	学校統合に伴うデメリットの解消につきましては、委員の皆様のご意見も参考に、市教委としても最大限努力していきたいと考えております。子どもたちのために、何が必要なのかを十分に協議していただきたいと考えております。
山内委員	<p>子どもにとりのぞましい学校教育は、より良い環境と少人数クラス制の中で、先生と子どもが信頼感を深め、充実させていくことができる小規模校が理想だと思う。</p> <p>メリットをさらに向上させ、デメリットを補い、特色ある校風を築き上げていくことが必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多人数による学習内容は、近隣校や他校との総合授業を設ける。</li> <li>・空き教室は、年々増加していく高齢者に多目的教養の場として開放し、時には交流の場を設け、社交性を身につけさせる。</li> </ul> <p>今回は協議時間が少なく、議題の内容についても意見が限られた人で終わってしまい残念である。</p> <p>地元代表から提出された要望・意見に対して、教育委員会より考え方や対応が提出されているのに、発言が少なかつたような気がする。時には指名して発言してもらってはいかがか。</p>	少人数指導のよさは、十分に認識しております。適正規模にすることにより、より一層充実した教育環境をつくっていかれるよう、議論していただきたいと考えております。
長田委員	<p>小規模校のメリットとして説明した内容は、どちらかという少人数学級のメリットと思われる。</p> <p>適正規模にしたら、人間関係も教育指導、学校運営面もすべてうまくいくような説明には疑問を感じる。最も大切なのは、教師の資質であり、また管理職である校長が教師のメンタル面も含めて、どの程度認識して個々に対応できているかが大切であろう。</p> <p>適正配置の必要性の理由に財政的な部分があるのなら、それをわかりやすく示すことと、理解を求める努力が必要だと思う。</p>	適正規模にすることにより、すべてが解決できるとは考えておりませんが、解決できる可能性は大いにあると考えております。学校と教育委員会との連携が、今後も重要になると認識しております。学校適正配置は、「よりよい教育環境の整備と教育の質の充実」のために行うものです。『実施方針』では、統合による跡施設利用の基本的な考え方として、地元の要望に配慮しながら有効活用することを原則として検討し、有効活用後、残った跡施設を処分する場合は処分益を教育施設等の整備・充実のために優先的に活用することとしております。
無記名	<p>適正規模とそうでない学校との学力の差、いじめ、不登校の件数について、千葉市の統計があれば提示してほしい。</p> <p>適正規模校にすれば学力がアップするのは、よくわからない。</p> <p>適正配置においては、40人(市は38人)学級編制は変わらない。法令上の基準なのでどうにもならないだろう。それよりも教員の加配を優先してほしい。余裕を持って授業に取り組める大切が必要だろう。</p> <p>もう少し具体的な協議かと思っていたが、第1次の協議の延長としか思えない。一小、四小だけでなく二小、三小、一中、二中と幅広い視野で取り組んでいかないと有意義な協議にならないと思う。デメリットだけでなく、メリットとなる部分も取り上げないと、なんら進展のない2年間となってしまいそうである。適正配置により、魅力ある学校が誕生すれば、保護者は通わせなくなり、地域の活性化につながると思う。</p>	本市には、学力やいじめ等についての学校規模との相関についての資料はございません。子どもたちや地域の実態、各学校の努力により、学校教育が成り立っていることをご理解ください。魅力ある学校づくりについては、幅広い視野で、有意義な議論をしていただきたいと考えております。教育委員会といたしましても、今後の協議の中でシミュレーションを提示してまいりたいと考えております。
無記名	<p>学級の人数については、少人数のほうがよいという意見が多数だと思われる。例えば、統合後5年くらいは特別に25人前後の少人数編制にして様子を見ていけばよいのではないかと。</p> <p>予算削減のためだけの適正配置ではないと言うのなら、納得させるだけの具体的で魅力的な新設校プランがないと、同意は得られないと思う。</p> <p>モデル校になるような新設校ができれば、それを目的に編入する人もでてくると思うので、団地や地域の活性化につながると思う。</p> <p>統廃合によるメリット、デメリットを話し合うよりも、統廃合後の具体的な学校のプラン(場所や設備等)を提示して、それについて協議を進めてほしい。</p>	魅力ある学校づくりと、地域社会の再構築と活性化については、協議会の中で十分に協議していただきたいと考えております。教育委員会といたしましても、今後の協議の中でシミュレーションを提示してまいりたいと考えております。